

年間指導計画 令和元年度 高等部 5組

		前期				後期							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教科別の指導	国語	書く「ひらがな、カタカナ練習、身近にある漢字の練習、漢字検定、御礼状」（聞くこと・話すこと、書くこと） コミュニケーション「自分の考えや意見を伝える、困った時や分からないときに適切な支援を求める言い方、適切な言葉遣い」（聞くこと・話すこと、書くこと、読むこと） 読む「漢字で書かれた身近にある物の名前等を読む練習 必要な情報を正しく読む練習」（聞くこと・話すこと、書くこと）											
	数学	時刻と時間「〇時〇分、何分前、何分後」（数と計算、図形）				お金の計算「金種、合計金額 おつり」 数の計算（正しく数を数える）（数と計算）				お金の計算「だいたいの支払い方」数の計算「足し算・引き算」（数と計算）			
	音楽	発声、歌唱「校歌、テーマソング他」（表現、鑑賞） 合奏（表現、鑑賞）ダンス（表現、鑑賞） 楽器演奏（表現）				発声、歌唱「校歌、テーマソング他」（表現、鑑賞） 合奏（表現、鑑賞）ダンス（表現、鑑賞）楽器演奏（表現）				発声、歌唱「卒業の歌」（表現、鑑賞） 合奏（表現、鑑賞）ダンス（表現、鑑賞） 楽器演奏（表現）			
	保健体育	ダンス（体づくり運動）ボッチャ（球技） 陸上競技「短距離走・リレー」（陸上運動） 水泳（水泳）				ダンス（体づくり運動）卓球バレー、フライングディスク（球技）水泳（水泳）球技（球技） 性教育（保健）							
	情報	Word「文字入力」（情報通信ネットワークとデーターの活用）				インターネット検索（情報社会の問題解決、情報通信ネットワークとデーターの活用） 画像検索（情報通信ネットワークとデーターの活用）				パワーポイント作成（情報通信ネットワークとデーターの活用）			
	各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	基本的な生活習慣の指導（着替え、排泄、清潔） 係活動、清掃活動、給食指導（食事指導）										
生活単元学習		かっこいい高校生になろう		将来について考えよう		「ふれあい心のステーション」を盛り上げよう		お弁当を作って出かけよう むこうがおかフェスタを成功させよう 学校中に感謝を伝えよう					

	作業学習	木工 木材加工・制作（竹箸）	木工 木材加工・制作（竹箸）	木工 木材加工
		農園芸 土壌改良・畝作り・苗植え・水やり・収穫（茄子・胡瓜・トマト・ししとう・ハーブ） 模擬販売・ポット作り、洗い、軍手洗い、軍手干し等・お役立ち活動	土壌改良・畝作り・苗植え・水やり・収穫（大根・ほうれんそう） 模擬販売・ポット作り、洗い、軍手洗い・軍手干し・お役立ち活動	
領域別の指導	特別活動	全校 入学式、離任式、新入生歓迎会、避難訓練、終業式	始業式、学校祭、避難訓練、きょうだい学級、終業式	始業式、卒業式、修了式
		学部 新入生歓迎会、宿泊学習	修学旅行、交流のひろば	卒業生を送る会
		自治 美化保健部（清掃活動、配り活動等） 図書部（読み聞かせ、ポスター作り等） 放送部（放送録音、ポスター作り等）		
		クラブ アクテティブスポーツ・音楽・卓球・バトミントン・陸上・美術		
	自立活動	コミュニケーションの基礎的能力（コミュニケーション） 日常生活に必要な基本動作（身体の動き） 他者との関わりの基礎（人間関係の形成） 集団への参加の基礎（人間関係の形成）	コミュニケーション手段の選択と活用（コミュニケーション） 作業に必要な動作と円滑な遂行（身体の動き） 自己の理解と行動の調整（人間関係の形成） 集団への参加の基礎（人間関係の形成）	状況に応じたコミュニケーション（コミュニケーション） 作業に必要な動作と円滑な遂行（身体の動き）
総合的な探究の時間		進路学習 体験実習 体験実習の事前学習 体験実習の事後学習	進路学習 体験実習 体験実習の事前学習 体験実習の事後学習	進路学習 体験実習 体験実習の事前学習 体験実習の事後学習

[illegible]

単元名	作業学習農園芸「お役立ち活動」	教科・領域の視点	国語・社会・数学・理科・職業・家庭・道徳・自立活動
学部クラス	高等部5、6組(3年生)	(教科・領域等関連表参照)	
＜本単元でつきたい力(単元設定理由)＞			
作業学習「農園芸」の学習で学んだことを実際に地域に出かけて生かすことで、地域の人に自分たちのことや日々の学習を知ってもらったり、直接関わることをとおして、学習で身に付けたコミュニケーションの力に自信をもたせたりしたい。そして、小学校の花壇や畑を自分たちが整備する体験をとおして「誰かのために役立っている」という実感を持ち、働く意欲を身に付けさせたい。			
＜前単元とのつながり＞			
前単元では、それぞれが任された学習過程をやり切り、さらに友達と協力をして作業を進める「分業」の形態を取った。ポットに朝顔の種を植え、芽が出たらプランターへ植え替えた。それを「向日が丘のみんなに喜んでもらう」というねらいで校門前に並べ、苗の管理や整備にも取り組んだ。水やりをしていると地域の方が声を掛けてくださり、生徒からも挨拶を返したり、質問に答えたりする等の機会をもつきっかけになった。			
＜共生社会へのつながり＞			
校内で学んだコミュニケーションの力や任された仕事をやり切る力を実際に地域の人と活動する場面で発揮することとおして、達成感や自己肯定感を感じとり、高等部卒業後に生活に生きる力として高めたい。 地域の方からの「ありがとう」や「助かったよ」等の言葉掛けに役立ち感を感じることで、卒業後、地域社会で働く時、どのような仕事を任されても意欲的に取り組み、責任をもとうとする力を育てたい。			
＜単元目標＞			
(1) 仕事に必要な挨拶、返事、報告、相談が場面に応じてできる。(思考力・判断力・表現力) (2) 指示を理解し、集中して作業することができる。(思考力・判断力・表現力)(知識及び技能) (3) 友達と協力しながら作業を進め、自分の仕事をやり切ることができる。(主体的に学習に取り組む態度)			
＜単元目標の評価規準＞			
(1) 授業で身に付けた仕事に必要な基本的態度を地域の場でも発揮できたか。(思考力・判断力・表現力) (2) 地域の方の指示を聞いて、任された仕事をやり終えることができたか。 (思考力・判断力・表現力)(知識及び技能) (3) 友達とコミュニケーションをとりながら、協力して作業ができたか。(主体的に学習に取り組む態度)			
＜児童生徒の実態と目標＞			
児童生徒名	実態(単元内容と絡めて)	個人の単元目標	手立て
A (3年)	・相手への返事や報告をするには指導者の支援が必要である。 ・友達の言葉掛けを聞いて、一緒に作業し、20分程度作業し続けられる。	・自分から返事をするができる。 ・友達と協力して作業をすることができる。	・使えるセリフを見える位置に設定する。 ・リーダーに言葉掛けするよう促す。
B (3年)	・指導者の支援があると挨拶、返事、報告ができ、簡単なやり取りもできる。 ・体力はないが、10分程度は作業し続けることができ、友達と協力して作業できる。 ・「できた」の自己評価である。	・学校以外の場所でも報告・連絡・相談ができる。 ・自分から次の活動を尋ねることができる。 ・作業の振り返りができる。	・目標を見える位置に設定する。 ・使えるセリフを見える位置に設定する。 ・動画で自分の様子を見て、自己評価を促す。
C (3年)	・指導者や友達に促されると挨拶できる。	・みんなと一緒に挨拶ができる。	・リーダーが言葉掛けで促す。

	・友達の言葉掛けと一緒に作業することができ、20分程度続けられる。	・友達と一緒に作業ができる。	・活動内容を本人が確認できるようにする。
D (3年)	・人との簡単なやり取りには支援が必要だが、挨拶は自らできる。 ・友達と協力して作業し、20分程度作業し続けられる。 ・すべて「できた」の自己評価である。	・自分から挨拶や返事ができる。	・声出し表が見える位置に設定する。
		・友達や地域の方と協力し作業することができる。	・リーダーに言葉掛けするよう促す。
		・作業の振り返りができる。	・動画で自分の様子を見て、自己評価を促す。
E (3年)	・最初の支援が必要だが、気付いて挨拶、返事、報告をする力はある。 ・友達と協力して作業し、10分程度作業し続けられる。感謝の言葉に意欲がもてる。 ・すべて「できた」の自己評価である。	・自分から挨拶や返事ができる。	・声出し表が見える位置に設定する。
		・友達や地域の方と協力し作業することができる。	・リーダーに言葉掛けするよう促す。
		・作業の振り返りができる。	・動画で自分の様子を見て、自己評価を促す。
F (3年)	・支援があると簡単なやり取り等、相手とコミュニケーションが取れる。 ・苗の植え替えの方法を覚えており、地域の方に褒められて嬉しかった経験がある。 ・自己評価は「わからない」と言う。	・学校以外の場所でも報告・連絡・相談ができる。	・目標が見える位置に設定する。
		・自分から次の活動を尋ねることができる。	・使えるセリフが見える位置に設定する。
		・作業を振り返ることができる。	・動画で自分の様子を見て、自己評価を促す。
G (3年)	・相手からの関わりがあると簡単なやり取りができる。 ・地域の方に教わりながら20分程度集中して作業できる。植え替えの方法を覚えていて、褒められたことが嬉しかった経験がある。 ・自己肯定感が低い。	・学校以外の場所でも報告・連絡・相談ができる。	・目標が見える位置に設定する。
		・自分から次の活動を尋ねることができる。	・使えるセリフが見える位置に設定する。
		・作業を正しく振り返ることができる。	・動画で自分の様子を見て、自己評価を促す。

単元計画表

次 (時間)	学習活動	評価規準
第1次 (20時間)	・オリエンテーション ・ミーティング	・農園芸の作業内容に見通しをもつことができたか。 ・作業に必要な基礎的な態度を身につけることができたか。
第2次 (10時間)	・土壌改良(畑)(プランター) ・種まき ・苗植え	・注意点を意識し、指示を聞いて正しく安全に作業することができたか。 ・作業工程を理解し、責任をもって作業し終えることができたか。 ・友達と協力して準備や片付けができたか。 ・友達と相談、協力して作業を行うことができたか。

第3次 (5時間)	・模擬販売準備 ・模擬販売	・注意点を意識し、指示を聞いて正しく安全に作業することができたか。 ・作業工程を理解し、責任をもって作業することができたか。 ・友達と相談、協力をして作業を行うことができたか。 ・言葉遣いや声の大きさ等に気を付け、模擬販売ができたか。
第4次 (10時間)	・お役立ち活動 (畑の整備、花壇整備等)	・仕事に必要な基本的な態度を地域の間でも発揮できたか。 ・地域の方の指示を聞いて、任された仕事をやり終えることができたか。 ・友達と相談、協力して作業ができたか。

＜この単元で身についた力＞	＜次の単元に生かせる力＞
地域の方にも自分から場面に応じた挨拶や報告をし、臨機応変な対応ができる等、コミュニケーション力が伸びてきた。そして感謝されることで達成感や役立ち感を持ち、さらに意欲的に活動に向かう力となった。	現場実習で自分から利用者の方、職員の方とも適切なコミュニケーションを取り、臨機応変な対応ができるようになってほしい。また、午前、午後仕事をし続け任された仕事をやり切る力にしてほしい。

「喜びをともにする授業」～多様性は可能性～



児童生徒の変容エピソード

	写真	児童生徒の様子
一次		Bさんはミーティングの進行役になると、友達にわかるように大きな声で、また敬語を使って進めました。Bさんは、他の授業でも自然に敬語で話せることが増えました。また、Bさんの姿が手本になり、他の生徒もミーティングを進める時は声の大きさや話し方を意識できるようになりました。
二次		Aくんは、友達がプランターに土を入れる仕事が終わらないと自分の仕事が進みません。最初はみんなの周りをうろうろしている様子が見られましたが、他の友達が声をかけ合っている様子を見て「手伝いましょうか」と自分から言えました。それをきっかけに友達の仕事の進み具合をよく見るようになり、協力するようになりました。
三次		野菜を校内で模擬販売しました。購入してくれた先生方から「美味しかったよ」と声をかけられ、模擬販売した野菜で作った料理の写真を見せてもらったことが大きな喜びになりました。生徒達は徐々に野菜を丁寧に拭いたり、傷がないかじっくり確かめたりしながら模擬販売準備をすることができるようになりました。Bさんは他の友達が傷を見落としているのを見つけ、「先生に報告やで」と教えてくれる等、模擬販売準備も協力して意欲的に取り組みました。
四次		地域の方と一緒に花壇の整備や畑仕事をしました。Gさんは、返事や報告をするのが苦手でした。最初は地域の方に教えてもらっても「うん」と言うだけでしたが、自分で気づき「はい。わかりました」と言えることが増えました。時には「終わりました。次に何をすればいいですか」と自分から言うこともできました。

<単元全体をとおして>

校門前に飾ったプランターの花を見た先生方や野菜を買ってくれた先生方から声をかけてもらったり、一緒に仕事をしている地域の方達から「ありがとう。助かった」「また来てね」と毎回声をかけてもらったりすることで、生徒達自身が自信をもって作業に取り組みました。

他の授業でも生徒同士が声をかけ合い協力し合う様子や敬語で話し合う様子が見られ、自分達で考えて活動する姿も徐々に見られるようになりました。